

法学部専任教員2006年度研究業績

雑誌名	駿河台法学
巻	21
号	1
ページ	324-312
発行年	2007-09
URL	http://doi.org/10.15004/00000167

法学部専任教員 2006年度研究業績

秋池 宏美 教授

【現在の研究テーマ】

ジェンダーと人権

芦野 訓和 准教授

【著作】

『解説 関連でみる民法』（共著，日本評論社，2007年2月）

『問答式 学校事故の法律実務』（共著，新日本法規出版，2007年）

『WEB版 判例体系』（共著，2007年）

【論文】

「売買法と請負法の交錯領域としての製作物供給契約（2）」（『駿河台法学』20巻2号，2007年2月）

【学会報告その他】

「代理人と使者」（『解説 関連でみる民法』，2007年2月）

「県立聾学校の生徒が体育大会の練習中に指導教諭に暴行を受けたことにより心身共に傷害を負った場合，県に責任はあるか」（『問答式 学校事故の法律実務』，新日本法規出版，2007年）

【現在の研究テーマ】

請負契約の研究，多数当事者の法律関係の研究，現代社会における民法の役割

天野 武男 教授

【研究ノート】

「Some Views on Death from Christian and Buddhist Beliefs」（『駿河台大学論叢』第32号，2006. 7，pp. 163-169）

【学会報告その他】

「教会学校における初心者へのカリキュラム」（2006年5月，教会学校研究，

三鷹教会)

「プロテスタント教会礼拝式文の分析」(2006年7月, 礼拝学研究, 東京バプテスト神学校)

「内村鑑三の信仰」(2006年5月, 日本キリスト教史研究, 東京バプテスト神学校)

「新渡戸稲造の信仰」(2006年6月, 日本キリスト教史研究, 東京バプテスト神学校)

「賀川豊彦の信仰」(2006年9月, 日本キリスト教史研究, 東京バプテスト神学校)

「k・バルトと使徒信条」(2006年10月, 組織神学研究, 東京バプテスト神学校)

「牧師の働きについて」(2006年11月, 教会形成研究, 東京バプテスト神学校)

「テキサスでの1年間: サウスウェスタン神学校」(2006年12月, 英米文学語学研究会)

「K・バルトの然りと否」(2007年1月, 組織神学研究, 東京バプテスト神学校)

「プロテスタント教会の礼拝について」(2007年1月, 礼拝学研究, 東京バプテスト神学校)

【社会活動】

「わたしについて来なさい」神学校説教: マルコによる福音書1章16節—20節 (2006年5月12日, 東京バプテスト神学校)

「種のたとえ」神学校説教: マルコによる福音書4章1節—20節 (2006年5月26日, 東京バプテスト神学校)

春の公開講座: 楽しく学ぶ英語ABC (2006年6月24日, 7月1日, 駿河台大学)

「主への栄光, パン五つと魚二匹の奇蹟」神学校説教: マルコによる福音書6章30節—44節 (2006年7月7日, 東京バプテスト神学校)

日本英語検定試験面接委員 (2006年7月, 11月, 2007年2月, 日本英語検定協会)

駿河台大学公開講座: 彩・ふるさと喜楽学 (2006年7月15日, 駿河台大学)

「キリストの香り」神学校説教: 2コリント2章15節 (2006年8月4日, 東

京バプテスト神学校)

「重荷を背負う人」教会説教：マタイによる福音書11章28節（2006年9月10日，関東プレインズ東京バプテスト教会主日礼拝）

「信じない私たちとイエスの復活」神学校説教：マルコによる福音書16章1節—18節（2006年9月15日，東京バプテスト神学校）

【現在の研究テーマ】

新約聖書のパウロ書簡について

天野 佳洋 教授

【著作】

天野佳洋＝折原誠＝谷健太郎編著『一問一答改正信託法の実務』（経済法令研究会）

【論文】

「その他 概観」（2006年9月）きんざい金融判例研究（金融法学会編）16号

「金融商品取引法・改正金融商品販売法と銀行のコンプライアンス」（2006年11月）きんざい金融法務事情1787号

【学会報告その他】

文献紹介

神田秀樹監修・著，阿部泰久・小足一寿『新信託業法のすべて』信託法学会『信託法研究』第31号

【現在の研究テーマ】

セキュリティゼーション

伊藤 行紀 教授

【論文】

「英国移民法と司法審査（一）」『駿河台法学』第19巻第2号（通巻第36号）2006，101-145頁

【学会報告その他】

2006年度比較法研究所共同研究進捗状況報告

【現在の研究テーマ】

英国移民法と司法審査（駿河台法学次号掲載予定）

英国における正当な期待の保護とWednesbury原則 (2007年度比較法文化掲載予定)

英国司法審査におけるdeferenceの意義と機能

井上 久士 教授

【著作】

『2005—2006 平頂山惨案研究』(共著, 吉林大学出版社, 2006. 9)

【学会報告その他】

「日本における平頂山事件研究とその課題」(第二回平頂山事件国際学術シンポジウム, 於中国撫順市, 2006. 9)

【現在の研究テーマ】

近現代中国政治史, 日中関係史

大坂 恵里 准教授

【論文】

「事実的因果関係の疫学的証明について」(『駿河台法学』第20巻第1号, 2006. 9)

「Women and the New Legal Training System in Japan」(『International Journal of the Sociology of Law』34巻3号, 2006. 11)

「アメリカの法学教育改革におけるマクレイト・レポートの影響」(『比較法学』第40巻第2号, 2007. 1)

「Debate Over the Competent Lawyer in Japan—What Skills and Attitudes Does Japanese Society Expects from Lawyers?」(『International Journal of the Sociology of Law』第35巻第1号, 2007. 3)

【学会報告その他】

学会報告

「Debate Over the Competent Lawyer in Japan—What Skills and Attitudes Does Japanese Society Expects from Lawyers?」2006 Law and Society Association Annual Meeting, 2006. 7. 6～9, アメリカ合衆国メリーランド州ボルティモア

翻訳

項焱「中国における臨床法学教育の現状と課題」(『法律時報』第979号, 2007. 2)

【現在の研究テーマ】

集団被害の法的救済, 法曹養成問題

大録 英一 教授

【現在の研究テーマ】

独占禁止法の理論的研究

加藤 紘捷 教授

【学会報告その他】

講演

「女性天皇の可能性とイギリスの王位継承法」中国廈門大学法学院にて(2007. 3. 26)

翻訳

ヴァーノン・ボグダナー「わがイギリスの新しい憲法」(『駿河台法学』第20巻第2号, 2007. 2. 28)

書評

森泉章『民法の散歩道』(信山社刊)(駿河台大学『比較法文化』第15号, 2007. 3. 31)

【現在の研究テーマ】

イギリスの憲法改革の研究

菊田 秀雄 講師

【学会報告その他】

「現物出資行為の詐害行為取消の可否」酒巻俊雄＝尾崎安央編『会社法重要判例解説』(成文堂, 第3版, 2006年) 28-29頁

「代表取締役職務執行代行者による臨時総会の招集と会社の常務」同上168-169頁

【現在の研究テーマ】

EUの企業・資本市場法制

北原 仁 教授

【論文】

「身分制議会と立憲主義 (5)」(『駿河台法学』第20巻2号, 2007. 2, 25頁～44頁)

【判例評釈】

「ごみ焼却場の設置」(『ジュリスト行政判例百選第5版』第182号, 2006. 6, 322～323頁)

【学会報告その他】

Oxford Round Table. 2006年8月Oxford Saint Anne's College.

発表テーマ

Struggle for Legitimacy in the Meiji Restoration: A Comparative Analysis

【現在の研究テーマ】

身分制議会と立憲主義の起源

ラテンアメリカ諸国の憲法

熊田 俊郎 教授

【論文】

「中華ナショナリズムの起源」(『比較法文化』第15号)

【現在の研究テーマ】

中国の都市計画・まちづくり, ヨーロッパおよび日本における本の町によるまちづくり, 都市近郊社会史

倉島 安司 准教授

【著作】

別冊ジュリスト (分担執筆)『行政判例百選Ⅱ [第5版]』(有斐閣, 2006. 6)

【現在の研究テーマ】

公法上の損失補償

狐塚賢一郎 准教授

【社会活動】

駿河台大学 秋の公開講座「初心者テニス講座」9月23, 24, 30日, 10月1日(全4回) 於 駿河台大学

豊岡プチ大学「スポーツマッサージで感じるノンバーバルコミュニケーション」10月13, 20日(全2回) 於 駿大ふれあいハウス

【現在の研究テーマ】

Tグループワークがスポーツ集団の凝集性に与える影響

コーディネーショントレーニングを応用した転倒予防運動

竹内 俊雄 教授

【論文】

「貸金業者による貸付にかかる今日の問題」(金融・商事判例1251号, 2006. 10)

【判例研究】

動産譲渡担保・集合動産譲渡担保に関する判例研究(『駿河台法学』第20巻2号, 2007. 2)

【判例解説】

重要判例解説(20)用地ジャーナル(大成出版社)2006年2月号

重要判例解説(21)用地ジャーナル(大成出版社)2006年3月号

重要判例解説(22)用地ジャーナル(大成出版社)2006年4月号

重要判例解説(23)用地ジャーナル(大成出版社)2006年5月号

重要判例解説(24)用地ジャーナル(大成出版社)2006年6月号

重要判例解説(25)用地ジャーナル(大成出版社)2006年7月号

重要判例解説(26)用地ジャーナル(大成出版社)2006年8月号

重要判例解説(27)用地ジャーナル(大成出版社)2006年9月号

重要判例解説(28)用地ジャーナル(大成出版社)2006年10月号

重要判例解説(29)用地ジャーナル(大成出版社)2006年11月号

重要判例解説(30)用地ジャーナル(大成出版社)2006年12月号

重要判例解説(31)用地ジャーナル(大成出版社)2007年1月号

重要判例解説(32)用地ジャーナル(大成出版社)2007年2月号

重要判例解説(33)用地ジャーナル (大成出版社) 2007年3月号

重要判例解説(34)用地ジャーナル (大成出版社) 2007年4月号

【学会報告その他】

講演

「土地売買契約における留意点」(近畿地区用地対策連絡協議会 2006年12月4日 国民会館大ホールに於いて)

【現在の研究テーマ】

譲渡担保を中心とする担保法の研究

利息制限法を中心とする金融法の研究

千草 孝雄 教授

【論文】

「カウンティ政府論の再構成」(『季刊行政管理研究』115号, 2006. 9)

「カウンティ政府論に関する一考察」(『駿河台法学』第20巻第2号, 2007. 2)

「カウンティ政府の現状と政治構造」(『関東都市学会年報』第9号, 2007. 3)

【現在の研究テーマ】

日本の地方議会

成田 憲彦 教授

【学会報告その他】

- ①「官邸機能強化は議院内閣制の空洞化につながるおそれも(論考)」(『週刊 金融財政事情』2006年10月23日号)
- ②「公選法改正で期待される効果と課題(ガバナンス・フォーカス)」(『月刊 ガバナンス』2007年4月号, 2007年3月27日)
- ③「役所の縦割り改革が先決(機能するか, 日本版国家安保会議)」(『朝日新聞』2006年10月6日)
- ④「政策決定過程を変えた経済諮問会議 次期政権も活用の道探れ(経済教室)」(『日本経済新聞』2006年7月31日)
- ⑤「『独裁的な』力使う技量(『劇場型政治』2人の違いなぜ)」(『読売新聞』2006年9月6日)
- ⑥「どう見る『小沢戦略』政権執着心, 正しく評価を」(『東京新聞』2007年

1月17日)

⑦「民意が『風』になる好例（『そのまんま現象』を読み解く）」『毎日新聞』
2007年2月3日)

⑧「官邸から挑む『政治主導』（ニッポン 人・脈・記）」『朝日新聞』2007
年3月19日夕刊)

⑨「都政と国政 複眼的選択迫る（都知事選2007）」『東京新聞』2007年3
月22日)

⑩「国会」（『イミダス2007年版』2006年11月）

【現在の研究テーマ】

政治制度の研究，現代日本政治の動向分析

西川 敏之 教授

【翻訳】

チャールズ・F・バーク「2008年のアメリカ大統領選挙」（『比較法文化』第
15号，2007，49-61頁）

【学会報告その他】

「日本外交のアキレス腱—ポスト小泉のリーダーシップと東アジア関係への
影響—」グローバル学会（英国ロンドン・ローハンプトン大学），英国日本
学会2006年度年次大会（英国ロンドン・チャタム・ハウス）2006年9月。

【現代の研究テーマ】

グローバル化と国際関係，国際関係論の理論，現代イギリスの政治，アメリ
カ大統領の業績と評価

朴 昌明 講師

【学術論文】

「経済危機以降の韓国労使関係（『大原社会問題研究所雑誌』第572号，2006.
7）

「海外コリアンへのコリア語教育に関する韓国政府の政策と海外教育機関の
現状」（『駿河台法学』第20巻第1号，2007. 2）

【学会報告その他】

「韓国の現代文化：韓流ブームに関連して」（2006年度駿河台公開講座「彩・

ふるさと喜楽学」2006. 6. 17)

【現在の研究テーマ】

韓国の企業社会と労使関係

長谷川裕寿 准教授

【学会報告その他】

訳書

『修復司法の根本を問う』（共訳・成文堂・2006. 5）

【現在の研究テーマ】

自律と責任，刑法における情操の意味，修復的司法

萬歳 寛之 准教授

【著作】

庄司克宏編『国際機構』（共著，岩波書店，2006. 4）

【学会報告その他】

「慣習国際法の形成過程におけるILCの役割」，国際法学会2006年度秋期大会報告，2006. 10

【現在の研究テーマ】

国家の国際違法行為責任の研究

M.A. Foulds 准教授

【現在の研究テーマ】

江戸時代の越後地方における狩野梅笑の活躍について

福田 二郎 教授

【著作】

『異文化そぞろ歩き』渦の会編著，「G.L. ディキンソン：ヒューマニズムと対話形式」（共著，ほんのしろ，2006. 6）

【現在の研究テーマ】

英国詩・小説，ヒューマニズム思想

星川 熙 教授

【論文】

「燃料電池：その効用と限界」(神明久, 星川熙『駿河台大学論叢』第32号, 2006. 7, PP. 115-129)

【現在の研究テーマ】

物理基礎論, 微小生物の運動

堀田 周吾 講師

【著作】

『ケースブック刑法』(共著, 弘文堂, 2007. 3)

『ケースブック刑事訴訟法』(共著, 弘文堂, 2007. 3)

【論文】

「任意捜査の相当性判断に関する一考察」(『法学会雑誌』第47巻1号, 2006. 7)

「警職法二条二項の要件を満たさない任意同行の適法性」(『法学会雑誌』第47巻2号, 2007. 1)

【現在の研究テーマ】

任意捜査の規律と適法性判断について

松田 浩 准教授

【学会報告その他】

「学長事務取扱発令延期と大学の自治—九大・井上事件—(東京地判昭48・5・1)」(高橋和之・長谷部恭男・石川健治編『別冊ジュリスト・憲法判例百選Ⅰ』第5版, 2007. 2)

【現在の研究テーマ】

学問の自由など

松平 光徳 准教授

【現在の研究テーマ】

「知的財産法の発展と展望」「米国フェアユース法理の展開と私的複製の限界」

山本 耕一 教授

【学会報告その他】

項目執筆

『現代倫理学事典』(大庭健他編, 弘文堂, 2006.12)

「革命」「史的唯物論」

【現在の研究テーマ】

環境倫理学, スラヴォイ・ジジェクの哲学

吉田 恒雄 教授

【学会報告その他】

報告書

「児童虐待の援助法に関する文献研究(第3報:1990年代)児童虐待に関する法制度および法学文献資料の研究第2期(1990年4月から2000年5月まで)」(編著)子どもの虹情報研修センター(2007年3月)

「児童虐待防止民間団体自主シンポジウム『要保護児童対策地域協議会と民間団体の役割』」CAPニュース61号(2007年1月)

「日野市・社会福祉分野における苦情処理体制に関する調査結果報告書——まとめと提言」(共著)日野市福祉オンブズパーソン(2006年12月)

学会報告等

「日本における児童虐待防止法制度——2004年法改正を中心に——」韓国子どもの権利学会秋期学術集会(2006年11月), 淑明女子大学

「子どもの権利から見た児童福祉法制のあり方～「子どもの権利基本法」に向けて～」全国児童養護施設研究協議会第60回大会シンポジウム(2006年11月), 大阪国際会議場

【現在の研究テーマ】

児童虐待の法学的研究

子どもの権利擁護制度の研究

吉野 貴順 教授

【著作】

『高等学校保健体育 指導と研究(改訂版)』(第一学習社, 2007.3, pp.326)

-341)

【学会報告その他】

2006年5月「2006男子世界フロアボール選手権大会」日本代表チーム, 監督
(Bディビジョン6位)

2006年11月～「2007女子世界フロアボール選手権大会」日本代表チーム, 監督

【現在の研究テーマ】

ショートトラック・スピードスケート競技選手の国際的競技力向上に関する
実践的研究 (特にジュニア期に必要な教育・指導プログラムについて)

ショートトラック・スピードスケート競技選手の体力と競技力との関係
フロアボール競技選手の国際的競技力向上に関する実践的研究

米山 哲夫 教授

【論文】

「憲法と刑事政策」(『駿河台法学』第20巻第2号, 2007, PP. 89-106)

【現在の研究テーマ】

刑事政策論の体系